事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月13日　　事業所名　ぽかぽか広場太田第2

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10 55.5%	4 22.2%	4 22.2%	集中する時間をしっかりと区切り、またパーテーションなどを使用して、スペースを確保している	・勉強する子のスペース確保が難しい時がある ・児発と一緒の活動が多いので適切かどうか判断しかねる時がある。上手くスペースを区切っていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	16 88.8%	2 11.1%		十分な職員数で、個別の対応も可能となっている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13 72.2%	5 27.7%			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15 83.3%	3 16.6%		ヒヤリの共有・改善策、やるべきことなど一連の流れで共有するようにしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	17 94.4%	1 5.5%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	17 94.4%	1 5.5%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	16 88.8%	2 11.1%			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17 94.4%	1 5.5%		月に一度の事業所内研修と積極的な外部研修の参加を推奨	・引き続き取り組んでいきたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	17 94.4%	1 5.5%		モニタリング時以外にも定期的に保護者に日常の様子・気になること、困りごとを細めに聞きコミュニケーションをとっている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14 77.7%	4 22.2%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15 83.3%	3 16.6%		立案スケジュールを立て、分担制をしっかり行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13 72.2%	5 27.7%		全員から意見を募り一人の考えで偏ることのないようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14 77.7%	3 16.6%	1 5.5%	毎日のレク、休日ごとのイベント、長期休暇は室内・外のイベントをバランスを考えながら設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	14 77.7%	4 22.2%		その日の子どもの様子に合わせて、計画にプラスして対応を変えていく	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14 77.7%	3 16.6%	1 5.5%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13 72.2%	3 16.6%	1 5.5%	開始・終了のミーティングだけでなく、日々いつでも振り返り・共有を積極的に行っている	全員で話せる場がもっとほしいという意見があったため新たに月に1回、事業所職員会議設けて話す場を設けた。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15 83.3%	2 11.1%	1 5.5%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16 88.8%	2 11.1%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	13 72.2%	5 27.7%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16 88.8%	2 11.1%		職員から意見を集め、担当者二名体制で参加	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	15 83.3%	3 16.6%		積極的な担任との 情報共有・確認	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					現在医療的ケア児を必要とされるお子様の受け入れを行っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	15 83.3%	3 16.6%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6 33.3%	10 55.5%	2 11.1%		卒業した利用者様はまだいないが、今後、障害福祉サービスの移行時は、積極的な情報共有をしていきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11 61.1%	7 38.8%			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11 61.1%	4 22.2%	3 16.6%		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4 22.2%	11 61.1%	3 16.6%		管理者による参加は行っているが、全職員にも周知できるよう、情報共有をしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13 72.2%	4 22.2%	1 5.5%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	10 55.5%	8 44.4%			家庭での日常の些細な情報共有などを、どの職員にも気軽にしていただけるよう、職員のスキルアップをさらに意識して取り組む
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15 83.3%	2 11.1%	1 5.5%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13 72.2%	5 27.7%		保護者の精神面のケアや 定期的な聞き取りをしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7 38.8%	8 44.4%	3 16.6%		開所して1年が経過したが、これまで機会がなかったため、感染状況・感染対策を踏まえ、安心してご参加いただける環境を整え実施していきたい。 また、開催した際は保護者の皆さまの橋渡しができるよう支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18 100%				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15 83.3%	3 16.6%		毎月写真付きの通信発行、イベントの詳細連絡・活動をブログでの発信している	
	35	個人情報に十分注意しているか	18 100%				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16 88.8%	2 11.1%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6 33.3%	9 50%	3 16.6%		開所して1年、コロナの感染状況から、地域の方を招待する行事は行えていなかったが、周辺の散策・積極的な挨拶を利用者様と一緒に行い、地域の方との交流を少しずつでも引き続き図っていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14 77.7%	4 22.2%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17 94.4%	1 5.5%		半年に一度の訓練の実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15 83.3%	3 16.6%		エスカレートすると 虐待につながる事案を 事前にシュミレーション することで防止に繋げている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	17 94.4%	1 5.5%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	17 94.4%	1 5.5%			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17 94.4%	1 5.5%		会議にて全事業所の ヒヤリハットの共有と ファイリング	